

令和5年度第1回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時及び会場

- 令和5年7月18日（火）
- 広島港湾振興事務所大会議室（広島市南区宇品海岸二丁目 23-53）

2 出席者

- 16名出席（1名欠席）

3 議事要旨

（1）議事

- 令和4年度第4回出島協議会の概要について
- 〔○ モニター監視について〕
- 廃棄物の受入実績等について
- 処分場の維持管理状況等について
- 周辺環境の調査結果について
- 出島処分場に係る今後の進め方について
- 地域振興策について

（2）回答要旨

【前回協議会の概要について】

（意見なし）

〔【モニター監視について】
（意見なし）〕

【廃棄物の受入実績等について】

- ・ 今年度は、令和3年度より受入量が少ない。この動向では見込みの考え方が甘いと思うが、どう考えているのか。
→ 今年度は、（令和3年度のように）時期による受入量の変動が無く、11,000トン～13,000トンがずっと続く計画となっている。よって、今年度の受入量は、令和3年度よりもプラスになると見込んでいる。

【台船Ⅰ・台船Ⅱの入替運転について】

（意見なし）

【処分場の維持管理状況等について】

（意見なし）

【周辺環境の調査結果について】

- ・ 「定量下限値」とは、何のための基準で、どういう意味があるのか。
→ その方法で分析をした場合に、この「定量下限値」までは定量ができるというものである。

【出島処分場に係る今後の進め方について】

(意見なし)

【地域振興策について】

(御質問)

- ・ 良いものができること自体は良い。ただ、ミニBMXは広島競輪場再整備・運営事業者の事業の中で整備すべきであり、事業者に補助金を出すのは、趣旨が異なるのではないか。
 - ミニBMXは、元々広島の競輪事業で整備を計画していたエリアには含まれておらず、事業者がミニBMXをやる場合も、事業者自身のお金ではできない事業であると聞いている。
- ・ 施設の所有権はどうなるのか。
 - 所有権は事業者になる。
- ・ ミニBMX案は、事業者側に元々あった計画ではないのか。
 - いいえ、整備が既に決まっているエリアとは違う話である。
- ・ 補助金の繰越しが可能なのか、これから議論してはどうか。
 - 整備候補が決まらないからと言って、その話自体が無くなるとは思っていないが、地域振興策に関する話と併せて、個別に御説明させていただきたい。
- ・ 維持管理が一番ネックになっている。県が管理する等、他に解決策はないのか。
 - 施設ができると維持管理費がかかるが、それに地域振興策の補助金を充てるのは難しいというのが、現時点での考えである。もっとも、この10年間、地元へ還元できていないのは事実であるため、10月に向けて、各地区協議を進めていきたい。

(御意見)

- ・ 今回提案のあった施設が地元でどのようなメリットがあり、どういう形で有意義に使われるのか分からない。
- ・ 各地区に補助する事業費を増やす等、早く地元へ還元してほしい。
 - 地元の皆様に御意見を伺いながら、引き続き、検討を進めさせていただきたい。

※ 担当事務局
広島県環境県民局産業廃棄物対策課
TEL：082-513-2964（ダイヤルイン）